学校番号	２１３

平成 31 度　国語科

教科	国語	科目	国語総合 （現代文）	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　国語総合　改訂版」　（大修館書店）						
副教材等	「書いてマスター　常用漢字」（文英堂） 「プレミアムカラー　国語便覧」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1 年生では詩や小説、評論といった幅広い文章に触れ、今後の国語の学習に必要な基礎的な力を養いましょう。
・定期的に実施する漢字テストでは、漢字だけでなく言葉の意味も覚えていきましょう。また、文章中に出てきた語句でわからないものがあれば辞書で調べる習慣をつけましょう。語彙力は国語の基本です。怠ることなくきちんと身に着けていきましょう。
・評論や随筆では筆者の述べていることを正確に理解する「読む能力」を向上させてください。
・小説や詩では、書かれていることから行間を読み取る力を養い、登場人物の心情を想像したり、自分に引き付けて考えたりしてみましょう。小説や詩を読む面白さを味わいましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・漢字力・語彙力をつける。
・評論や随想では書かれていることを論理的に読み取る読解力を養う。
・小説や詩の学習では、行間を読む能力を高め、思考力・判断力を養う。
・文章の内容を自らの体験に引き付けて理解し、文章を読む面白さを味わう。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	・授業に積極的に取り組み、現代文について学ぶ意欲がある。 ・文章の内容を自らの体験に引き付けて理解し、文章を読む面白さを味わう。	・集中して授業を聞くことができる。 ・文章を明瞭に音読することができる。 ・本文の内容をふまえて自分の意見を言ったり、書いたりできる。	・授業の要点を理解し、ノートにまとめることができる。 ・相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	【評論】【随筆】 筆者の主張や意見を論理的に理解できる。 【小説】【詩】 ・表現に即して心情を理解できる。 ・表現の効果や面白さを理解する。	・幅広い語彙力を身につけ、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解している。 ・文学史の基本的な知識を身につける。
評価方法	・行動の観察（授業中の態度や発言等） ・提出物の点検	・行動の観察（授業中の態度や発言等）	・レポート・感想文などの作成した文章。 ・提出物の点検 ・定期考査	・提出物の点検 ・行動の観察（授業中の態度や発言等） ・定期考査	・漢字テスト ・提出物の点検 ・行動の観察（授業中の態度や発言等） ・定期考査
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期中間	随筆	加賀美幸子 「メッセージ探しの旅」	○		◎	◎	○	a 作者の心情を理解し、随筆に親しむ。 c ノートの取り方を理解し、授業の内容をわかりやすくノートにまとめることができる。 d 随筆という文章の性質を理解し、その基本的な読み方を身につける。 e 語彙力・漢字力を身につける。	ノートの点検 行動の観察及 定期考査
	小説	江國香織 「子供たちの晩餐」	○			◎	○	a 子ども同士の軽妙なやりとりを描く小説を読み、小説に親しむ。 d 小説という文章の性質を理解し、その基本的な読み方を身につける。 e 語彙力・漢字力を身につける。	行動の観察及 定期考査
1学期期末	評論	金田一春彦 「漢字の性格」	○			◎	○	a「漢字の特徴」について理解し、筆者の考える「日本語の特性」について考える。 d 評論という文章のジャンルを理解し、その基本的な読み方を身につけ、「日本語」のあり方をどう述べているのか筆者の主張を的確に読み取る。 e 語彙力・漢字力を身につける。	行動の観察及び 定期考査
	短歌・俳句	「短歌」 「俳句」	○		◎	◎	○	a 短歌特有の表現方法を理解し、味わう。 c 表現上の特色を押さえたうえで、作品について自分独自の意見を持ち、鑑賞文を書く。 d 短歌や俳句に描かれた情景や作者の心理を読み取る。 e 短歌や俳句の形式について理解する。歌人についての知識を深める。	作成した文章の点検 行動の観察及び 定期考査

2学期中間	評論	芥川龍之介 「羅生門」	○			◎	○	a 日常の中で考える善と悪と、下人のように追い詰められた状況の中で考える善と悪との違いについて考える。 d 時代背景を理解し、主人公の心理がどのような状況で変化していくかを読み取る。 e 作者についての知識を深める。	行動の観察及び定期考査
2学期期末	詩	谷川俊太郎 「はる」 石垣りん 「崖」	○	◎		◎	○	a 詩独特のリズム・世界観に触れ味わう。 b 詩を音読し、韻律を味わって鑑賞する。 d 詩の表現上の特色を押さえる。 e 詩人についての知識を深める。	行動の観察及び定期考査
	評論	佐藤克文 「ペンギンはなぜ一列になって歩くのか？」	○		◎		○	a ペンギンの生態について理解し、筆者の発見について考える。 c ペンギンの様子について箇条書きでまとめる。 e 評論頻出の語彙・漢字を学習する。	行動の観察及び定期考査
3学期	評論	斉藤孝 「人生は『動詞』で変わる」	○	◎		◎	○	a 「動詞」に焦点を当てることで、言葉の力に気づき、味わう。 b 「マイ動詞」を考え、クラスの中で話し合い、共有する。 d 「動詞」を意識することが何につながると考えているのか、筆者の主張を理解する。 e 語彙力・漢字力を身につける。	行動の観察及び定期考査
	評論	姜尚中 「何のために『働く』のか」	○		◎	◎	○	a 「働くこと」についての作者の考えを味わう。 c 私たちは何のために「働く」のか、考えを述べる。 d 少し長めの評論を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。 e 抽象的な語彙を理解する。	行動の観察及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 話す・聞く能力
c: 書く能力　　d:読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。